

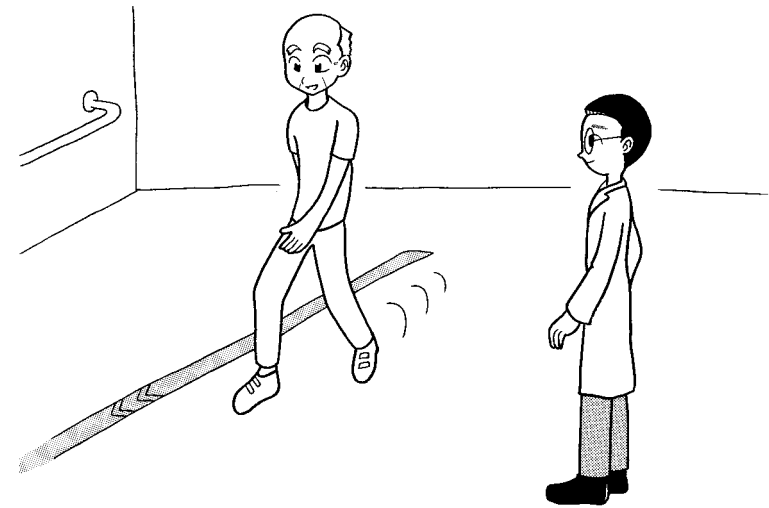
加速度計測による高齢者歩行の 安定性評価と転倒予防に関する研究

研究代表者 東北大学 猪岡 光

歩行時の体幹部の動揺を携帯型の加速度計により高齢者の歩行の安定性を評価しました。高齢者と健康若年者、関節痛の有無や運動習慣の異なる高齢者について比較した結果、高齢者でも運動習慣の高い人は若年者と同様な高い動的安定性を持ち、また関節痛の有無により安定性に差が出ます。

高齢者個人の歩行安定性の診断や、転倒の個人で危険要因の解明、運動の効果を見るのに有用です。また、転倒予防運動の効果や、運動プログラムそのものの適否の判定にも役立つものと思われます。

この測定は10歩程度の直線方向の歩行中に行えるので実用的でしょう。



加速度計測は、高齢者ごとの歩行安定性の判断などに役立つ

